



## 家族団らん

校長 中村 直行

「教育の原点は家庭にあり」と言われています。例えば、動物の世界では、親が模範を示し、子どもはそれをまねて学習します。心理学では「すり込み」と呼ばれ、歩き方、飛び方、獲物の捕り方、すべて親から学びます。人間は、学習内容が高度になったために、学校をはじめとする専門の学習の場で学ぶようになりました。しかし、しつけや作法、基本的な生活習慣などは家庭での学びが多いのではないのでしょうか。また、家庭での団らは子どもたちの心の居場所としての大切な機能を果たしているように思います。



以前読んだ新聞に、アルバイトをする大学生の投書を見かけました。「私は焼き肉レストランでアルバイトをしています。最近気になることがあります。それは、家族で食事に来ているのに、携帯型のゲームに没頭している子どもがとても多いことです。家族の会話は全くありません。ゲームをしながら親が焼いてくれた肉をなんとなく食べているような気がする…」というものです。

かつての日本の家庭では、「食事中はテレビを消しなさい」とか「食事中にマンガを読んでいると叱られる」といった光景がどこの家庭にもあったように思います。ですから、子どもの学校のことや進路のこと、政治や経済、芸能など、様々な話題が家族の会話として自然に行われてきたのだらうと思います。家族と一緒に食事をしながら今日一日の出来事を「話し」「聞く」とても重要な時間でした。そして、家族団らの時間を通じて健やかな心の成長と維持がなされていました。



みなさんのご家庭では日頃から家族団らの時間を多くもたれていると思いますが、年末・年始はそれぞれの家庭に伝わる伝統・文化、ならわしを子どもたちに伝えたり、家族の一員としての役割を自覚させたりするなど、家族の絆を強くする絶好の時期です。是非とも、家族団らんに大切にしてお過ごしください。

また年末に向け、各家庭で大掃除を行うことと思います。大掃除には、普段できないところまで、大掛かりな掃除をするという意味のほかに、悪い部分や不都合を一掃するという意味があります。毎日のせわしい生活の中で、心が疲弊し悩みや苦しみが重なって、時には怠けなくなったり、悪い考えが浮かんだりしそくなります。一年の締めくくりに、家族でこの一年間を振り返り、心の大掃除をして、さっぱりした気持ちで新年をお迎えください。





1年生と6年生交流集会



2年生 地域のお店探検



4年生 お琴体験

「かかわり」「つながり」を核とした、  
異学年交流の充実  
積極的な「外部人材活用」  
「体験活動」の充実

今年度、本校の教育活動において大切にしてきた取組の中に、積極的な「外部人材の活用や体験活動の充実」と「異学年交流の充実」があります。  
2学期も様々な体験の機会や活動の設定しながら取組を進めてきました。どの学年も実際に自分の目で見たり、専門的な話を聞いたりすることをおして、自分の世界や視野を広げたり、自分の興味のあることやしてみたいことに気付いたりすることにつながっていました。

6年生から5年生へ マーチング引継



3年生 消防署出前授業



異学年の交流では、上の学年が優しく声を掛け共に行動する姿、活動をリードする上級生の様子を真剣に見つめる下級生の姿がありました。  
相手の立場になって考え行動する経験や「このように進めていくんだな。」と、高学年の姿から感じ、学ぶ機会となるなど、お互いにとても有意義な時間となっていました。



### 令和六年度全国学力・学習状況調査の結果から

四月に行われた「令和六年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の概要をお知らせいたします。なお、旭川市全体の分析結果につきましては、旭川市のホームページに掲載されていますので、ご参照ください。◎：成果、△：課題

《国語科》  
○学習指導要領における六つの内容全てにおいて、全国平均よりも高い水準の結果でした。  
△資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する設問に課題がありました。

《算数科》  
○学習指導要領における四領域のうち、三領域において全国平均よりも高い水準の結果でした。  
△変化と関係「領域」の「速さ」に関する設問に課題がありました。

《今後に向けて》  
課題につきましては、二学期に再履修の場を設け、確実な定着に向けて指導していきます。また、六年生だけでなく、各学年の学習内容との関連性・系統性を確認し、どの学年においても、子供たちが力を付けていけるよう授業改善を図っていきます。

《児童質問紙》  
○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思つ。  
○国語・算数の勉強は大切だと思つ。  
△将来の夢や目標をもつている。  
△人の役に立つ人間になりたいと思つ。

《今後に向けて》  
児童のよさについては、全教職員で共有し、引き続き、目標をもつて取り組む大切さについて実感できるような活動の場を工夫していきます。

### 児童の安全な通学路確保にご協力をお願いします！

本格的な雪のシーズンを迎えました。児童には、排雪された雪山に登ったり、雪山で遊んだりしないこと。また、除雪作業場所には近づかないこと等、指導を重ねています。  
地域保護者の皆様におかれましては、通学路への排雪の防止にご協力いただき、児童の安全な通学路確保にご理解とご協力をお願いいたします。

